

フェーズ	1日目			2日目	3～8日目
入院日数	入院日(手術前日)	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目	術後2～7日目
達成目標	・手術の必要性が理解でき、手術に同意している	・精神的、身体的に術前準備が整う	・手術が安全に終わられる ・創部の出血や腕の腫れがない ・痛みをコントロールして安楽に過ごせる	・術後の早期離床、リハビリ訓練の開始が出来る 	・退院の準備が出来る ・病気に対する今後の治療が理解出来る
記録					
医師指示					
観察 ・モニター			・朝まで心電図モニター、血圧を定期的に測定します ・酸素マスクをつけます (/ 、 時 分迄)		
検査	・入院までに終わっています			・朝6時頃に血液検査をします 	
画像診断				・午前中にレントゲン撮影があります(胸部)	
内服・外用	・今飲んでいる内服薬の確認させていただきます 				
注射	・手術前の点滴を開始します 	・抗生剤の点滴を手術中と部屋に帰室してから1回ずつ行います	・抗生剤の点滴が1日2回あります 	・抗生剤は術後4日目まで投与し、以後中止となります	
治療・手術 ・リハビリ	・痛みや吐気に対してお薬が使えます 	・手術をします	・弾性ストッキングを装着します ・創部からは排液ドレン(Jバック)が出ています	・歩き始めたら弾性ストッキングを除去します ・傷の消毒をします ・Jバックは袋に入れて首から下げます	・術後3日目に排液バックの排液量が1日30～50ml以下になれば排液ドレンを抜去します ・術後7日目抜糸をします (/) 予定
活動・清潔	・活動の制限はありません。 ・毛剃りを行ったあと、シャワーを行います	・点滴前に手術用の病衣に着替えます	・病室に帰室後は安静に休んで下さい 	・身体を拭きます ・回診後から歩行できます 	・術後2日目から下半身のシャワー浴が可能となります。
食事・栄養	・食事は24時から絶食です ・栄養管理の有無(有・無) 	朝6時まで飲水可能です	絶食です	・朝から水分可です ・昼から全粥が開始となります	・朝から常食となります 
教育・指導	・看護師により入院案内と手術についての説明があります。 ・入院時書類、手術同意書の記入が出来ましたら、看護師にお渡しください	・手術に必要なものを準備してください。 ・入れ歯、指輪、時計などは外して、下着と病衣で手術室へ行きます ・排泄は手術15分前までに済ましてください	・手術の結果を主治医から御家族に説明いたします ・必要時尿の管が入る事があります ・痛みや吐気など色々な症状が出ますので気兼ねなくお知らせください	・午後からパンフレットに従って患上肢のリハビリ開始となります。理学療法士が訪室いたします 《退院後の注意点》 ①患側上肢の外傷や火傷に気をつけましょう(抵抗力が弱くなっているため感染しないよう注意) ②患側上肢の循環を妨げないようにしましょう(患肢で重いものを持たない、締めつける服は避けましょう) ③患肢を使いすぎると浮腫(むくみ)が出る場合があるので気をつけましょう	・退院は術後5～7日目で出来ます 退院が術後7日目より早ければ、抜糸は外来で行います

※病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

※入院期間については、現時点で予想されるものです。